

# 山本理事長は5期目に

## 第49回通常総会を開催

広島県 広島市 工業 鉄構

広島県鉄構工業会(山本泰徳理事長)は5月30日、広島市南区のホテルグランヴィア広島で第49回通常総会を開催した。2022年度の事業計画や収支予算などを審議し、すべての議案を全会一致で承認。任期満了に伴う役員改選では、山本理事長(メメント)の続投が決まり、組合の世代交代を進めながら5期目の舵を取る。

### 共同組合広島県鉄構工業会 第49回通常



あいさつする山本理事長

あいさつで、山本理事長は「本年度から顧問弁護士制度を導入する。日本は欧米のような契約社会が浸透していないことが課題であり、組合員が弁護士に気軽に相談できる体制を整えた。皆さんにはしっかり利益を上げてもらい、それを社員に還元し、社会に貢献してほしい。自分の会社だけが儲ければ良いという時代は終わっている。業界の発展に向けて全員で立ち上がり」と呼びかけた。

続いて、来賓として出席した広島県の湯崎英彦知事、全国鐵構工業協会の米森昭夫会長がそれぞれ祝辞を述べ、湯崎知事は「厳しい経営環境だと認識しているが、皆さんの高度な知見と経験を生かし、建築物の安全・安心の確保、鉄鋼技術のさらなる発展のために尽力してほしい」と激励した。議事では、21年度事業報告・決算報告、22年度事業計画案・収支予算案、役員改選などの議案を全会一致で承認。

22年度の事業計画には、▽世代交代の促進▽人材の確保・育成▽鉄骨の技術開発を含めた技術力向上▽青年部のさらなる活性化▽ファブの社会的認知の確立▽支部会活動の一層の充実の6項目を盛り込んだ。

最重要課題に位置付ける「人材の確保・育成」の分野では、動画やSNSなど最新の情報ツールを積極的に活用し、若者や女性が活躍できることを目指す。

世代交代、青年部の活性化の事業では、青年部の若手を組合親会の理事に登用することで柔軟な発想を取り入れていくほか、鉄骨製作部会や各種講習会への参加も促す。

支部会活動については、会員数の増加による支部再編に着手し、適正規模での活動を展開していく。